

萩にあしあと残そよ

「梅雨明けて、暑い夏の到来。」



青空に青い海は
最高です。

「自由気ままな歌日記」

今日の花ベニバナと聞き
山形の高瀬に降りた

旅思い出す
(七月五日)

「日々の暮らし」

七月一三日に、九州北部と
中国地方が梅雨明けしたとみ
られるなど報じられました。末
期に各地で豪雨がありました
が、幸い萩地域での被害はな
かつたようです。その後は全
国的な猛暑、いつまで続くか
心配になります。

ワクチン接種については、
萩市観光協会のとりまとめに
より、私の予約より十日早く
集団接種を受けられることに
なり、八月上旬に二回目を終
えられそうです。

休業の平日は、日中は部屋
にこもっているため、朝のラン
ニングで体を動かすように
しています。多少涼しくても
汗だくになりますね。

先週に刈られたばかり道端の
草つんつんと立ち伸びる夏
(七月二〇日)

駐車場に袋を拾うことは減り
白いマスクは日々落ちている
梅雨明けの港は空を反射して
白い舳先が凜々しく並ぶ
(七月一五日)

この後の

猛暑をよそに走り出す

◆観音院の美しい佇まい◆
山陰本線玉江駅の近くにあ
るお気に入りの建築、それは
潮音山観音院です。指月山の
西側を流れる橋本川に沿う、
玉江集落の一段上に建ち、対
岸から見ると二層の観音堂の
均整のとれた美しい佇まいに
惹かれます。

◆夕方のはぎマルシェ◆
月に一度のはぎマルシェ、
七月は初めて夕方に開催され
ました。午後四時から七時半
まで、多少雨に邪魔されま
したが、今回はバンド演奏や
高校生による縁日コーナーも
あり、いつもより賑やかな雰
囲気となっていました。会場
は毎回萩中央公園です。

◆今夏も菊ヶ浜で海水浴◆
菊ヶ浜海水浴場が開設され
たので、海水浴＆日光浴＆運
動のため早速泳ぎに出かけま
した。子どもたちは夏休みに入
り、東京五輪に伴う四連休
ということで、暑さを避けて
多くの人が練り出しています。
た。少し泳いで甲羅干し、また
少し泳いで仰向けに寝転ぶ
おじさんを、誰も気に留めて
はいないでしようね。

◆市内でもひときわ立派な山県
有朋の騎馬像を囲む会場◆
市内でもひときわ立派な山県
有朋の騎馬像を囲む会場。

令和3年(2021)
8月1日発行
-第30号-
発行:大塚好一

「あしあとノート」

◆広場の草刈りに参加◆

防災青年団の団長から声が
かかり、船着き場の広場の草
刈りに参加しました。参加し
たのは、町内会長や役員など
を含む一人です。

この日はとても蒸し暑く、
額から汗がぼたぼたと落ち、
湿ったシャツが重たくなるほど
で、午前中の四時間ほどの
作業で、体力を消耗してフラ

フラで帰宅しました。

それほど疲れた体でしたが、
水分と昼食のおかげでまもなく
回復し、夜にはご褒美に配
られた缶ビールをおいしくい
ただくことができました。
ちなみに、八月にこの広場
で開催される盆踊り大会は、
今年も中止となりました。



対岸から望む観音院。



宝形造屋根。



市内でもひときわ立派な山県
有朋の騎馬像を囲む会場。

次回八月は午前九時から午
後一時まで開催とのこと。
試行錯誤しながら催しを育て
ている様子が伺えます。

◆今夏も菊ヶ浜で海水浴◆

菊ヶ浜海水浴場が開設され
たので、海水浴＆日光浴＆運

動のため早速泳ぎに出かけま
した。子どもたちは夏休みに入
り、東京五輪に伴う四連休
ということで、暑さを避けて
多くの人が練り出しています。
た。少し泳いで甲羅干し、また
少し泳いで仰向けに寝転ぶ
おじさんを、誰も気に留めて
はいないでしようね。

◆市内でもひときわ立派な山県
有朋の騎馬像を囲む会場◆
市内でもひときわ立派な山県
有朋の騎馬像を囲む会場。

◆ 厳島神社の夏祭りの景◆



船名が書かれたカラフル
なのぼりが立ちます。



神社参道の両脇に
大漁旗が揺れます。

島神社の管絃祭、今年は七月二六日でした。当日は行けませんでしたが、のぼり旗や大漁旗が並ぶ様子を目にすることができました。この時期は大潮で、地中で海とつながっている池の水位もかなり高く、普段歩いている場所が水没していく驚きました。

これにちなんで明神池と呼ばれるようになつたそうです。そして、旧暦六月一七日は厳島神社は、萩藩二代藩主毛利綱広が、安芸の宮島の厳島明神を勧請したのが始まりです。

下関市毘沙ノ鼻は、本州最西端の地です。ひょんなことから、寮の隣人の運転手として下関市内へ行つたついでに訪ねました。とりあえず、到達の記録ということです。



4ヘクタールに 25 万本と
いう規模だそうです。

◆ むつみひまわりロード ◆



夕日スポット。

◆ 本州最西端・毘沙ノ鼻 ◆



ちなみに、
7月 31 日。

◆ 河川・海岸一斉清掃 ◆

萩市環境美化週間に伴う河川・海岸一斉清掃が実施されました。朝の一時間程度ですが、組のみなさんと園地や歩道の草取りをしました。

この四月に利用を開始した

大学の寮（廃業したホテルを改装）の学生も参加し、高齢者の多い地域に若い力が加わったと喜ばれています。

〔波間のエッセイ〕

『公衆トイレを使うたびに』



春雨庵 (山形県上山市)
(2015.7.8)

前書きが長くなりましたが、話の主役の公衆トイレは、道を隔てて建っています。その個室の中だつたか、手を洗う

比べて、早朝に走る際に困ることといえば、急にお腹がゴロゴロしてくることです。これは思いどおりにはなりません。

『先日、散歩の途中に急に

お腹が差し込んで辛くなつた

ところ、こちらのトイレを使

用しました。困っていた時に

本当に助かりました。』

まず、春雨庵について紹介しておきましょう。ここは江戸時代の初期に、沢庵禅師が流され、三年ほど過ごした庵です。たくあん漬けの考案者とも言われる、あの沢庵和尚ゆかりの場所なのですね。場所はかみのやま温泉中心部の新潟地区から、細い小径を登った先で、趣のある茅葺屋根の建物の中に沢庵禅師像が鎮座しています。

春に一面の菜の花畑を紹介したのを覚えていませんか？その萩市高佐地区の圃場では、夏本番を迎えるのが咲きました。そりました。そろそろ見頃というタイミングを見計らつて行ってみると、午前八時過ぎにもかかわらず、既に多くの人が足を運んでいました。やはり一見の価値あります。

日中や夕方のランニングと比べて、早朝に走る際に困ることといえば、急にお腹がゴロゴロしてくることです。これは思いどおりにはなりません。そんな時がありがたいのが公衆トイレです。そして、利用するたびに、山形県上山市の「春雨庵」を訪ねた時のことを思い出します。



沢庵禅師の像。
(2015.7.8)

上山は歌人斎藤茂吉のふるさと。茂吉は次のように詠み、春雨庵敷地内に歌碑が建っています。

*

上山に籠居したりし沢庵を大切にせる人しおもほゆ
(上山に流れ閉居していた沢庵禅師を、当時の土地の人々は温かく接し大切にしてくれた。その人々の温情がひとしお思い出されることだ。)※意訳をパンフレットより引用しました。



◆ 厳島神社の夏祭りの景◆

◆ 本州最西端・毘沙ノ鼻 ◆

近くにお住いの人がお礼をしておきました。ここは江戸時代の初期に、沢庵禅師が流され、三年ほど過ごした庵です。たくあん漬けの考案者とも言われる、あの沢庵和尚ゆかりの場所なのですね。場所はかみのやま温泉中心部の新潟地区から、細い小径を登った先で、趣のある茅葺屋根の建物の中に沢庵禅師像が鎮座しています。

私もこの人を見習い、松陰神社前の公衆トイレと、日々管理してくださっている方にお礼の気持ちを表したいという考えを持っています。

ペーパーを置いていたことが分かります。感謝の気持ちをそつと返しておく心遣いに心温まり、こうして今でも記憶に残っています。